JEMEA進歩賞について

　日本電磁波エネルギー応用学会（JEMEA）は、電磁波エネルギーの応用に関する基礎的研究及びその応用技術の進歩並びに知識の普及を図り、もって学術文化の進歩普及、産業の発展及び生活の向上に寄与することを目的としています。そのためには、豊かで安心な未来社会の構築に向けた社会を牽引する若手アカデミック研究者や企業研究者の一層の飛躍が不可欠なものと考えます。そこで、若手アカデミック研究者や企業研究者の優れた活動と本会事業推進への一層の精励を期待して、第11回JEMEA進歩賞候補者を下記により募集いたします。

1. 名称：JEMEA進歩賞
2. 対象：電磁波エネルギー応用に関する学術研究、応用技術、ならびに生活の向上を図る進歩やマイクロ波関連製品開発について顕著な貢献をおこなった本会会員（含、学生会員）で、今後の本会事業推進の精励が見込まれる者。応募締切時においてアカデミック研究者は原則45歳以下。企業研究者は年齢を問わない。
3. 件数：年2件以内
4. 応募資格：上記2)の対象者のうち、主たる成果を日本電磁波エネルギー応用学会が主催する学術集会で発表実績がある会員の推薦を受けた者。自薦可。
5. 表彰：次年度総会で受賞者発表、シンポジウムにて表彰。賞状ならびに副賞授与。
6. 受賞者の義務：次年度シンポジウムでの受賞記念講演実施
7. 応募方法：応募者は下記の必要書類を揃え、令和6年12月30日（土）（必着）までに日本電磁波エネルギー応用学会事務局宛にメール添付送付。送付先：office@jemea.org

郵送必要物がある場合:メールにて郵送先をお問合せ下さい。

提出書類

1. 推薦書（様式１表裏）　**PDF版メール添付送付**
2. 主たる業績/開発の概要と今後の研究開発の抱負（A4用紙２ページ以内、図表挿入可）**PDF版メール添付送付**
3. 業績内容を支持する資料等（様式自由）**PDF版メール添付送付**

※記載内容は任意であるが、「論文や特許リスト」、「技術開発」、「JEMEA貢献内容」、「今後のJEMEA活動の抱負」の４項目は項目立てして記載すること（該当なしの場合でも項目立てして該当なしと記載）。自分で立案した研究や開発があれば、積極的に記載すること。尚、「論文や特許リスト」はマイクロ波関連のみを抜粋し、主たる論文別刷り1点以内を添えること。「技術開発」は生活の向上を図る進歩やマイクロ波関連製品開発と市場化などに関したものでその内容に関するエビデンス（報道記事やパンフレット等）を記載・添付すること。「JEMEA貢献内容」は会員経歴の他にJEMEAが主催する学術集会（JEMEAシンポジウム、GCMEA）での発表（集会名、期日、題目、講演番号、演者）を含める。

JEMEA進歩賞候補者推薦書

（様式１）表

令和6年度

令和　　年　　月　　日

特定非営利活動法人日本電磁波エネルギー応用学会理事長　殿

 推　薦　者 　捺印不要　（会員番号：　　　　　）

　　　　　　　　　　　推薦者氏名フリガナ

 住　　　所

 所　　　属

 （個人会員連名推薦の場合記入）

 連名推薦者氏名　　　　会員番号 所　　属

① 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　＿＿＿＿＿

 ② 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　＿＿＿＿＿

 ③ 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　＿＿＿＿＿

 ④ 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　＿＿＿＿＿

 ④ 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　＿＿＿＿＿

下記のとおり進歩賞候補者として推薦します。

|  |  |
| --- | --- |
| 推薦する業績/開発のタイトル（日本語）　　　　（英語） |  |
| 氏名　（会員番号）　　氏名フリガナ |  |
| 最終学歴 | 最終学歴　　　　　　卒業・修了　学位：　 |
| 年齢 | 満　　　歳 |
| 所属機関名 |  |
| 部局（部署）・役職 |  |
| 所属機関所在地 | 〒 |
| FAX |  |
| E-mail |  |
| 略歴　　　　　　　　　　　　　　　　　 | 　　　　年　　月　　高校卒業 |
| 　　　　年　　月　　大学　学部　学科卒業 |
| 　　　　年　　月　　大学大学院　専攻卒業 |
| 学士指導教官：　　　　　教授修士課程指導教官：　　　教授博士課程指導教官：　　　教授職歴： |

推薦理由（１枚以内）

（様式１）裏面

|  |
| --- |
| 本項記載者：推薦理由：以下、5項目についての記載＋推薦者自身のコメントをお願いいたします。1. 関連分野に関する知見と独自性
2. 学術的評価
3. 社会への貢献度（製品化寄与、特許実施件数、セミナー講師経験等）
4. JEMEAヘの貢献度
5. 電磁波エネルギー分野へ期待される将来性
 |